

松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業

松戸市



松戸市（本郷谷健次市長）は「地域の高齢者が主役となつて地域を支える新たなコミュニティ・ソリューション」として、グリーンスローモビリティ（グリスロ）地域推進事業を展開している。地域の互助により、高齢者の社会参加を促進、健康寿命を伸ばし、地域コミュニケーションを活性化。公共交通では行き届かない地域内の移動や公共交通を補充し、地域内を安全に移動できる手段の確保策としてグリスロを活用する。

は、2016年度から実施した松戸市と千葉大学予防医学センターの「介護予防に資する活動等に関する共同研究」の協定を締結したこと。共同研究の調査により、健康指標や社会参加率に関して地域間格差があることが分かった。その後、重点実地調査などにより地域の実態を把握した。19年に国土交通省、21年には千葉大学予防医学センターとヤマハ発動機が主導する実証調査により、非利用者と比較して、グリスロ利用者は外出機会や日常行動範囲が1・751・9倍となったことが分かったという。さらに、家族などと話す機会や、地域活動への参加などが2・85・5・2倍に拡大し、楽しみや生きがいが生まれるなど心地的改善効果が2・11・2・6倍に増加したという結果が示されたことから事業化した。

ポイント①道路運送法による登

高齢者が主役の地域振興活動



録・許可不要の輸送②運営主体が地域住民であること③市が地域へグリスロ車両の貸与と運営費用の一部補助を行うこと④ドライバーライセンス制度を設定。これらを「松戸モデル」と位置づけ、地域裁量を図るほか、創意工夫につなげている。

【受賞者コメント】

この度は、松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業が「モビリティ・ソリューション賞」をいただき大変光栄に存じております。松戸市のグリスロ事業は、高齢者の社会参加を念頭に、地域住民が主体となつて運営しており、運営メンバーの創意工夫、精力的な活動で地域内の小さな移動が実現されています。松戸市として、地域へ謝意を示すとともに、引き続き地域と一緒にグリスロ事業を推進していく所存です。